

令和4年度 農事組合長会議



令和4年度農事組合長会議が、12月22日に農協2階会議室にて行われました。

本会議は、高橋組合長の挨拶で開会し、役員報酬審議委員の選任、地区別懇談会の日程、令和5年度事業に対するご意見・ご要望についての協議を行いました。

令和5年度 営農計画相談

令和5年度における、営農計画相談及び免税軽油の受付が、農協2階会議室にて1月10～13日の日程で開催されました。

令和5年度にあたって、営農の経営指針となる営農計画書を提出して頂き、令和5年度の作付計画や収量計画を担当職員と細かく話し合い、経営収支計画を立てていました。



コンプライアンス研修会



コンプライアンス研修会が、1月26日に農協2階会議室にて行われました。

今年度は、『活力ある職場づくりとは～「不祥事未然防止」「JA運営の好循環」との関連性について～』と題して、「活力ある職場」にしていくにはどうすれば良いかについての研修を行いました。

前半は、コンプライアンス違反や不祥事の事例から、コンプライアンスの全体像や、不祥事を未然に防ぐにはどうすれば良いかを学びました。

後半には、グループワーク形式を用い、各部に分かれて、活力ある職場を作るために自分自身で意識を高めて取り組んでいきたいこと、部全体で意識を高めて取り組んでいきたいことについての話し合いを行いました。



令和5年度 地区別懇談会

本組合の令和5年度地区別懇談会が2月17日、午前と午後に分け、農協2階会議室で開催され、40名の組合員が出席（出席率23・81%）されました。

本会は中村専務の挨拶で開会し、本年の取り組みについて、基本方針を説明したのち、令和4年度の収支見込み、令和5年度の事業計画をそれぞれ担当部長から説明をしました。

質疑応答では、コンバイン取得、新規作物の検討、集荷推進、女性部について、令和4年度の農作物の販売状況、手数料などの値上げについて、肥料高騰対策支援のスケジュールなど多くのご意見ご質問が出されました。



令和5年度 ビート懇談会



日本甜菜製糖（株）幕別原料事業所主催による令和5年度ビート懇談会が、1月25日に農協2階会議室にて行われました。

懇談会では、令和4年度生産実績、原料代並びに交付金交付対象数量、令和5年度防除計画、土づくりと良い土の条件、輸送回数改定案、北海道糖業（株）地区原料受入、新技術・新品種と専用除草剤等についての説明を聞きました。

さくらんぼの会 年賀状作り

さくらんぼの会の年賀状作りが、12月19日に札幌コミュニティプラザにて行われました。

毎年、組合員家庭で80歳以上の方に手作り年賀状を出しており、今年も「押し花」で年賀状を作りました。一枚一枚丁寧に花を並べる作業は根気のいる作業で、皆さん手元に集中しながら、気持ちを込めて作成しました。

完成した年賀状はどれも色鮮やかで素敵なものができました。



女性部友の会 冬期研修



女性部友の会の冬期研修が、1月17日に農協2階会議室にて行われました。

今年度は、インナーマッスルを鍛えることで体のゆがみを改善することを目的に行われているピラティスをしました。

部員の皆さんは、和気藹々とした雰囲気の中でピラティスに臨んでいて、体をしっかりと伸ばすことでリフレッシュすることができました。

女性部 防災出前講座

女性部の防災出前講座が、1月26日に農協2階会議室にて行われました。

幕別町防災環境課防災危機管理係の職員を講師に招き、幕別町で起こる自然災害の種類や災害への備え方、在宅での避難方法などについての講座を受けました。

部員の皆さんは真剣な表情で講座を受けていて、今回の講座を通して自然災害や備え方についての理解を深めることができました。



青年部管外視察研修



札幌農協青年部主催の管外視察研修が、2月13～14日の日程で開催されました。

今回は、総勢18名の青年部員が参加し、苫小牧市のノーザンホースパークと北広島市のTECHNOLOGY FARM西の里に行きました。

ノーザンホースパークでは、乗馬体験とポニーによるショーの鑑賞を行い、部員の皆さんは馬との触れ合いを楽しんでいました。

TECHNOLOGY FARM西の里では、ドローンを用いた最新の農業技術について学びました。資料での説明を受けた後、実際にドローンを用いて操作方法などの説明を受けました。部員の皆さんは、最新の農業技術を熱心に学びました。研修の後は、ドローンを用いた最新のスポーツであるドローンサッカーの体験をしました。

2日間に渡る視察研修は学ぶことがとても多く、充実した時間を過ごすことができました。



青年部・職員交流会

青年部と職員の交流会が、2月18日にスズランボウルにて行われました。

この交流会は、青年部と若手職員との交流の機会を持つことを目的に毎年行われていましたが、新型コロナウイルスの影響から3年ぶりの開催となりました。今年は34人が参加し、青年部と職員の混合チームでのボウリング大会を行いました。

ボウリング大会は、青年部長の挨拶と始球式で幕を開け、序盤からカーブボールや剛速球が繰り出されるなど白熱した勝負が繰り広げられました。一方では、投げ方のアドバイスをしたり、スペアやストライクが出ると拍手を送り合うなど和やかな雰囲気ゲームを楽しんでいるグループもありました。

その後の懇親会では、普段話す機会の少ない青年部と職員で親睦を深めることのできる良い機会となり、とても有意義な時間を過ごすことができました。

